

令和3年度 第2回児童による学校評価 まとめと見解

八王子市立小宮小学校

校長 安藤 臣一

向春の候、ますますご清栄のことと、お慶び申し上げます。日頃より本校の教育活動にご理解とご支援を賜り誠にありがとうございます。

さて、今年度実施の「第2回児童による学校評価」についてその結果をまとめましたのでご報告いたします。なお、この結果を本校の各校務分掌担当者が分析検討し、今後の本校の教育活動の改善に反映してまいります。ご質問等ございましたら、本校までお問い合わせさせていただきますようお願いいたします。

【1】実施時期 令和4年2月22日～2月28日

【2】回答率 児童数 198 (5年 103 6年 95) 回収数 184 (5年 92 6年 92) 回答率 92.9%

【3】各項目結果のまとめ

A…あてはまる B…だいたいあてはまる C…あまりあてはまらない D…あてはまらない E…わからない (比)

No.	評価項目	AB 評価率	CD 評価率	E 評価率
1	学校・学年・学級の目標や、重点テーマ目標「伝える！ つなげる！ ゴースマイル！」を知っている。	95% (-2)	3% (+2)	2% (0)
2	学校は力を入れて行っている取り組み「多摩川の学習（4年）、畑での栽培活動（全学年）、昔遊び・読み聞かせ・昔のくらし等」に取り組んでいる。	80% (-4)	10% (+4)	10% (0)
3	自分の大切さ、他の人の大切さを認め、行動するように先生たちは指導している。	94% (0)	2% (-1)	4% (+1)
4	学級は落ち着いて学習できる雰囲気である。	84% (-2)	11% (+3)	5% (0)
5	先生たちは授業において、説明、板書、話し合い活動、視聴覚機器（ICT機器）の活用などの工夫に取り組んでいる。	90% (0)	2% (-1)	8% (+1)
6	学校は、いじめに適切に対応し、いじめのない学校づくりに取り組んでいる。（子供へのアンケート実施・話を聞き、相談にのってくれる等）	93% (0)	4% (+2)	3% (-2)
7	学校は、生活指導（あいさつ・言葉づかい・学校のきまり等の指導）に取り組んでいる。	94% (-2)	4% (+2)	2% (0)
8	先生たちは、将来の進路や職業について指導している。	71% (+4)	16% (0)	13% (-4)
9	学校は、学習環境の整備や清掃活動に取り組んでいる。	94% (-3)	2% (0)	4% (+3)
10	避難訓練に真面目に取り組んでいる。	97% (+2)	2% (-2)	1% (0)
11	運動に進んで取り組んでいる。	89% (+1)	8% (-1)	3% (0)
12	自分には良いところがあり、自分のことが好きである。	72% (-2)	21% (+2)	7% (0)

13	自分から進んであいさつしている。	85% (-5)	13% (+4)	2% (+1)
14	自分は学校のきまり「小宮スタンダード」を守り、当番や係活動をしている。	75% (-7)	4% (-1)	21% (+8)
15	自分は、友達をいじめることなく、大切にしている。	95% (-2)	2% (+1)	3% (+1)
16	家庭学習は、学年×10分している。	77% (+4)	14% (-1)	9% (-3)

【4】項目別評価についての見解

① 「目標」について

今年度は全校朝会や運動会、学芸会等の学校行事、学年行事で教師も児童も「伝える」ことを意識して取り組んできました。なかでも全19回行った全校朝会のうち、ほぼ毎回のように児童自ら進んで「ぜひみんなに伝えたい！」とエントリーがありました。どの発表も相手を意識した分かりやすい内容と工夫された発表方法で、聞いている側も「なるほど!」「すばらしい!」と感心させられるものばかりでした。今年度取り組んだことを今後も継続するとともに、より高い水準となるよう指導改善していきたいと考えています。

② 「学習」について

今年度当初より全教員が効果的なICT機器の活用法について学んできました。授業の中で適時ICT機器を使うことで、学習内容の理解が深まり、児童がより意欲的に学習する姿が見られるようになってきたと感じています。また、1回目のアンケートでは家庭学習の定着がAB評価が73%でしたが、今回は77%と上向きになりました。小宮小学校では3学期から児童の発達段階にあわせ、4～6年で毎日の家庭学習の内容を自分で計画し取り組むことを始めました。「何のために、誰のために学習するのか」が明確になったことで児童はより家庭学習の必要性を感じるようになったと受け止めています。今後も学習に「主体的に学ぶ」子供たちに育てていきたいと考えています。キャリア教育については前回よりAB評価が4%増えました。さらに計画的に指導していきます。

③ 「生活」について

アンケート結果から8割以上の子供たちは、あいさつ、言葉遣い、いじめなど意識して日々生活していることがわかります。今回のアンケートでもNo.12で自分の良さを実感できていない児童が約3割いました。自分の良いところは、自分では認識しづらく他者から言われて気づくこともあります。学校での教育活動全体を通して、互いのよいところを児童同士が伝え合う場面を工夫して増やしていきます。また、No.14では『自分は学校のきまり「小宮スタンダード」を守り、当番や係活動をしている。』とあるが、現在「小宮スタンダード」という名称は使われていないので、質問項目の言葉を変えていきたいと思ひます。